

## 指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和2年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)  
年間 (4月～3月)

施設名	あきる野市民プール	指定管理者	シンコースポーツ・アズビル 共同事業体
指定期間	令和2年4月1日から 令和4年3月31日まで	担当課	スポーツ推進課

### 1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	335	121	36.1%	
	延べ利用者数 (人)	83,700	5,992	7.2%	
	事業開催 回数	必須事業 (回)	89	0	0%
		自主事業 (回)	955	0	0%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	62,386,700	31,193,346	50.0%
		利用料金収入(売上) (円)	11,448,500	821,610	7.2%
		自主事業収入 (円)	13,600,000	473,332	3.5%
		その他の収入 (円)	0	1,026,101	0%
	収入計 (円) …①		87,435,200	33,514,389	38.3%
	支出	人件費 (円)	11,900,000	5,044,672	42.4%
		維持管理経費 (円)	42,266,280	16,774,306	39.7%
		自主事業関係経費 (円)	5,815,000	308,673	5.3%
		その他の支出 (円)	24,168,920	8,279,141	34.3%
	支出計 (円) …②		84,150,200	30,406,792	36.1%
	収支 (①-②) (円) …③		3,285,000	3,107,597	94.6%
諸経費 (本社運営費など) …④		-	-	-%	
総収支 (③-④) (円)		3,285,000	3,107,597	94.6%	

#### 指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<p><b>【開館日数・利用者数について】</b> ○開館日数 換水清掃のため8月3日から8月5日までの3日間、屋内プールを休業しました。 コロナウイルス感染予防策のため 4月、6月窓口のみ営業：11日間 4～5月完全休館：54日間。 屋外プール営業中止。 ○利用者数 <b>【屋内プール】</b> 個人 5,818人 (前年 17,800人) *個人利用：市民のみの利用。 団体 174人 (前年 4,021人) ※市内定期団体のみの利用。1団体 2コース 10名の定員。 <b>【屋外プール】</b> コロナウイルス感染予防策のため営業を中止しました。</p>	<p><b>【事業の実施状況について】</b> ○必須事業 水中運動とワンポイントアドバイスを実施予定でしたが、コロナウイルス感染予防策のため開催を中止しました。 ○自主事業 コロナウイルス感染予防策のため教室の開催を中止しました。 物品販売は、必要最低限の商品(スイミングキャップ等)の販売のみ実施しました。 自動販売機については、通常どおりの販売を行いました。 ※1月以降、コロナ感染状況を見ながら、少数人数で市民を対象にした教室開催を準備中です。</p>	<p><b>【収支状況について】</b> ○収入 利用料金収入は年間計画に対し7.2%、自主事業収入は年間計画に対し3.5%となっています。(あきる野市からの補填金額をその他の収入欄へ計上。) コロナウイルス感染予防策のため、プール利用に制限があり、収入が計画に比べ減少しています。コロナウイルス感染状況を見ながら下半期からの教室の再開等、利用制限緩和の対応をとり収入増へ繋げられればと思います。 ○支出 年間計画に対し36.1%となっています。 必要最低限の支出に留め利用者へ不便が起きないように注意して</p>
--	--	---

		まいます。 ※物販、教室等は、自主事業収入及び自主事業経費に含まれております。 ※コロナウイルス感染予防策のため 4月、6月窓口のみ営業：11日間 4～5月完全休館：54日間 屋外プール営業中止。
所管課の評価（指摘事項）		
【開館日数・利用者数について】 コロナウイルス感染症予防策による施設休館・利用制限をしていたため利用者数は減少しています。下半期については、国や都の動向を見ながら利用制限の緩和に向けて、利用方法の検討をして下さい。	【事業の実施状況について】 コロナウイルス感染症予防策のために事業を中止したことは、適切な判断であったと考えます。引き続き、コロナ禍の状況を注視した上での開催判断をして下さい。	【収支状況について】 コロナウイルス感染症予防策を講じているため、利用料収入・自主事業収入ともに減少しています。支出は引き続き必要最低限となるよう努めてください。

## 2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負っていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	7人 人員配置計画、実地、出勤簿	7人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や	2回/年 研修マニュアル	実施回数1回	適正・要改善

	研修を行っている			適正・要改善	
	障がい者や高齢者、地域住民の雇用促進に努めている	1%	人員配置計画	12% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守やハラスメント対策など、労働環境への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿、就業規則等	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

### 3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<p>総利用者数は5,992人で、前年比11.3%、屋内プール個人利用者数は、前年比32.7%、団体利用者数は、前年比4.3%、屋外プールの営業は中止となりました。上半期は、コロナウイルスによる臨時休館や利用者の利用制限を行ったため例年のような利用者確保することは出来ませんでした。</p> <p>自主事業においては、教室事業の中止、物品販売商品の品目も必要最低限の商品に絞っての販売を行いました。今後は、コロナウイルス感染状況を見て取り扱い商品を多くして収入増を目指してまいります。</p> <p>収支状況においては、上半期ではコロナウイルス感染症予防による臨時休館や利用制限のため個人利用・団体利用の収入が計画金額に対して7.2%、自主事業収入も計画に対して3.5%となり収入全般で厳しい結果となりました。支出につきまして必要最低限の支出に抑え利用者が満足して利用していただけるよう十分注意しながら営業を行いました。</p> <p>障がい者を対象とした水泳教室や水泳大会（第6回ユニバーサルアクアフェスティバル）の開催などといったイベントが行えなかったため、下半期には、コロナウイルス感染状況を見ながら、それらに代わるイベントを実施できればと考えております。今後ともコロナウイルス感染予防対策を行いながら安心して気軽に利用できる施設を目指し運営を行ってまいります。</p>
所管課による所見（指摘事項など）
<p>コロナウイルス感染症が拡大している状況で、休館及び利用人数制限を行っているため、個人利用者数・団体利用者数は減少していますが、施設各所の感染予防策が講じられていたことで、安全な施設運営であったといえます。自主事業やイベント開催については、利用者の安全確保を優先し、感染状況を注視した上で、利用方法を工夫して取り組んでください。</p> <p>収支状況については、コロナ禍での営業となり、個人利用・団体利用収入及び自主事業収入ともに計画金額に対し低い割合となっている状況ではありますが、支出の経費削減等が見られます。今後も取組を継続し、市民サービスの向上に努めてください。</p>